

科学技術・学術審議会基礎研究振興部会における主な検討の観点について(案)

1. 基礎研究の今日的意義・位置付け

- 近年の急速な科学技術の進展や政策動向の変化等を踏まえ、基礎研究の意義や政策的位置付けについて今日的見地から捉え直したとき、今後の政策推進に当たって重要な観点とは何か。

2. 我が国の基礎研究環境の現状と課題

- 各種データ・エビデンス(論文指標等に見る国際プレゼンスなど)に基づく現状分析、課題の把握
- 諸外国の研究環境・政策動向

3. 「戦略的な基礎研究」の推進方策

- 戦略目標策定プロセスの改革(これまでのレビューを含め)
- 戦略的創造研究推進事業の充実方策(支援メニューの新設・拡充等)
- 他のファンディング事業(科研費事業、未来社会創造事業、産学連携関係事業等)との間の効果的な連携や成果継続について、どのように実効性を確保していくか。

4. 基礎研究のタイプや分野特性・事業特性に応じた振興方策

- 戦略的創造研究推進事業等のいわゆる「トップダウン」型のファンディング事業について、科研費事業等のいわゆる「ボトムアップ」型のファンディング事業との関係性や差異を踏まえた上でいかに進めていくか。
- 「スモール・サイエンス」型のファンディング事業(戦略的創造研究推進事業等)について、「ビッグ・サイエンス」型の事業(加速器科学や宇宙・天文学の振興等)との関係性や差異を踏まえた上でいかに進めていくか。
- 基礎研究振興に向けた拠点形成事業とファンディング事業との相補的連携の在り方はいかにあるべきか。

5. 新興・融合分野の振興方策

- 「分野融合研究」の捉え方、数理科学的アプローチ及びその科学的・政策的意義
- 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)のこれまでの成果検証及びその結果を踏まえた今後の進め方